



さかわようちえんだより

～冬号～

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子
わ:わくわくしながらチャレンジする子



令和4年1月12日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子

あけましておめでとうございます

いつもより少し長い冬休みを終え、ひとまわり大きくなった子どもたちの声が園に響いています。充実した冬休みだったことが伺えます。

第3学期は、進級や就学に対する子どもたちの意識が高まる時です。子どもたちの中に膨らむ期待や少しの不安を大切に受け止め、希望を胸に次のステップに進むことができるようにしたいと考えています。保護者の皆様の、温かいご理解とご協力をよろしく願いいたします。

3学期に思うこと

健やかな心と体の子

進級・就学に向かう3学期。自分でできることが増える良さを感じながら、できることは自分ですることを目指していきたいと思います。自分でできることが増えると、やってくれる人を待つことがなくなり、自由な時間が生まれます。また、自信や意欲も育ちます。キーワードは『良さを感じながら』です。家庭でも取り組んでください。

考えたことを実行する子

ほし組は『友達と協力して』さくら組は『友達と一緒に』考えたことを実行して行ってほしいと思います。『一人ではできないことも、友達と一緒にならできる!』と感じる経験が、『次はこうしてみよう!』という意欲を引き出します。

助け合う子

ほし組は、友達と助け合いながら生活を進めていかれるようにしていきたいと考えます。この経験が、『友達がいるから大丈夫!』という就学への大きな自信につながっていきます。さくら組は、助けて欲しいとき困ったときに発信し、それに気づいたら行動を起こせるようになって欲しいと思います。この経験の積み重ねが、友達の良さを感じ、協力することにつながっていきます。

寅年に思うこと

『虎は千里往って千里帰る』ということわざがあります。虎は一日に千里ほどの遠方まで行く我が子を思いその千里の道を帰ってくるということで、子を思う親の愛情が極めて強いことを表すのだそうです。また、『虎の子』は、虎は我が子をとても大切にすることから非常に大切なもの貴重なものを表すそうです。(まさに、子どもたちのことですね)そして、寅年は、芽吹いたものが成長する年と言われています。保護者の皆さんのお子さんに対する深い愛情を感じながら、進級・就学する子どもたち一人一人がより良く成長することができるよう頑張りたいと改めて思う年の始めです。第3学期も、よろしく願いいたします。